

# コシノコバイモ

ユリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

*Fritillaria japonica* Miq. var. *koidzumiana* (Ohwi) Hara et Kanai

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

従来も産量の少ない植物であったが、近年、急減した。(現況:V2-)

## 形態

鱗茎は2個、茎の高さは10cm程度。葉は下部は対生で上部では三輪生となる場合が多い。花は茎頂に1個、下向きに着く。花被片は6枚で、長さ15~20mm程度、淡黄色で紫の網目模様がある。花被片の縁と内側の中麓にそって、毛状の突起が顕著。この部位の突起がコシノコバイモの特徴である。

## 国内分布

北陸と東北が主な分布地であるが、愛知、岐阜、長野、静岡などの各県から報告がある。

## 県内分布

カタクリと類似の分布をしめし、加賀中央区と南加賀区に分布、能登には分布しない。

## 生態など

なし。

## 生育環境

水分の多い鬱閉した崖面などに多く生育する。

## 危険要因

産地局限、園芸採取。

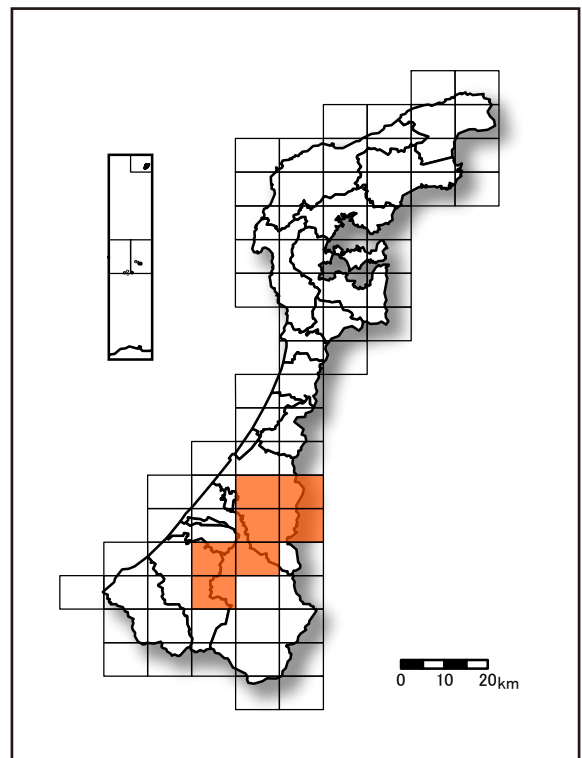
## 特記事項

南加賀区には、花被片の毛状突起の発達が悪いものがある。

鳴橋直弘・佐藤尚史・野田昭三.1997. ユリ科コバイモ類7種の花の比較解剖植物地理・分類研究45(1)1-12.



本多郁夫・2009年3月27日・白山市



県内の分布